

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	842-2 青少年健全育成事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本 施策	37 子どもたちの健やかな成長を促す	目	04	青少年育成費
		細目	441	青少年健全育成事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	青少年健全育成事業
担当部課	コード	450400	担当者 氏名	森林 紗織
	名称	教育委員会生涯学習課	連絡先	22 - 9679 (内線) 3833

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内の児童生徒や青少年の健全育成を願う大人 ※対象件数
成果(どうする)	地域の大人が子どもたちに興味を持つことにより子どもたちとのふれあいが増え、青少年の健全育成、非行防止につながり、少年非行が少なくなる。
根拠法令・要綱等	子どもの読書活動の推進に関する法律 子ども健全育成条例
開始年度	平成 年度 関連事業
終了年度	平成 年度
H22 事業 内容	子ども読書活動推進計画の実施 青少年健全育成推進大会の開催 輝け！いがっ子憲章啓発事業 ・輝け！いがっ子フォトコンテストの募集 ・輝け！いがっ子憲章のチラシの配布
社会情勢 の変化等	平成20年度から5年間の計画で「子ども読書活動推進計画」がスタートした。 子ども健全育成施策検討委員会では当該年度の計画と実績を検証しながら計画を推進している。 また、輝け！いがっ子憲章啓発事業「第3回輝け！いがっ子フォトコンテスト」を行い憲章の普及に努めている。

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
青少年健全育成推進大会の開催	回	回	目標 1	目標 1	1	1
			実績 1	実績 1		
輝け！いがっ子憲章フォトコンテストの募集	回	回	目標 1	目標 1	1	1
			実績 1	実績 1		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
青少年健全育成推進大会参加者数	青少年健全育成推進大会を開催し多くの人に家庭や地域の教育の大切さを伝える。	人	目標 200	目標 200	200	200	
			実績 300	実績 348			
輝け！いがっ子フォトコンテストの募集	日常の生活を写す写真を通して子育てや子どもの健全育成のてびきとする憲章の周知を行う。	枚	目標 50	目標 60	60	60	
			実績 57	実績 45			

投入 コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	705	853	1,277	1,277
	事業投入人件費(B)	1.2人	8,640	0.1人	720
	フルコスト(A)+(B)	9,345	1,573	9,917	9,917

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必 要 性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有 効 性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達 成 度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無 繰越の種類別	
効 率 性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	平成22年度から、開催日時・場所・内容等について検討する。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	・青少年健全育成推進大会を、1月29日(土)にヒルホテルサンピア伊賀において人形劇場を開催し348人の参加があった。 ・「第3回輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、45点の応募があった。その作品を銀座ギャラリーや各地区公民館で展示した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	児玉 泰清
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	家庭、学校、地域社会等が連携協力して青少年の健全育成に取り組むことができるよう、行政及び民間団体の参加・協力を得て諸事業、諸活動を実施する。
現時点における課題、その他	青少年健全育成推進大会について、市民が参加しやすい事業内容について検討がと「いがっ子憲章」のより一層の周知が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	事業の開催日時・場所・内容等について検討すると共に、フォトコンテストの結果を展示し、いがっ子憲章の周知、啓発を図る。